

ともに創ろう おかやまの未来 — 見て分かる教師ガイド —



平成 23 年 2 月
岡山県総合教育センター

目次

こんな力を身に付けてほしい

資質能力の六つのカテゴリー	1
---------------	---

教育に対する情熱・使命感

受け継がれる精神	2
岡山っ子の健やかな育成に向けて	2
教育の出発点 — 人と人との心のふれあい —	2

生徒指導力

児童生徒の健やかな成長を願って	3
児童生徒理解を深めよう	4
適応上の問題や心理面の問題がある児童生徒とのかかわりは？	5
特別な支援を必要とする児童生徒の理解のために	6
発達障害のある児童生徒への教育的支援	7

学習指導力

提示と活動の工夫 — 興味・関心を高めるために —	11
発問の工夫 — 授業の交差点 —	12
分かりやすい板書 — 学びの足跡 —	12
机間指導 — 一人一人を大切に —	13
授業改善に向けて — 自分では意外と気付かない —	13

マネジメント力

学級担任として、日々の生活で心がけることは？	14
教室環境や雰囲気のコーディネート	15
危機管理 — 担任の動き —	16
学校給食と食に関する指導	16

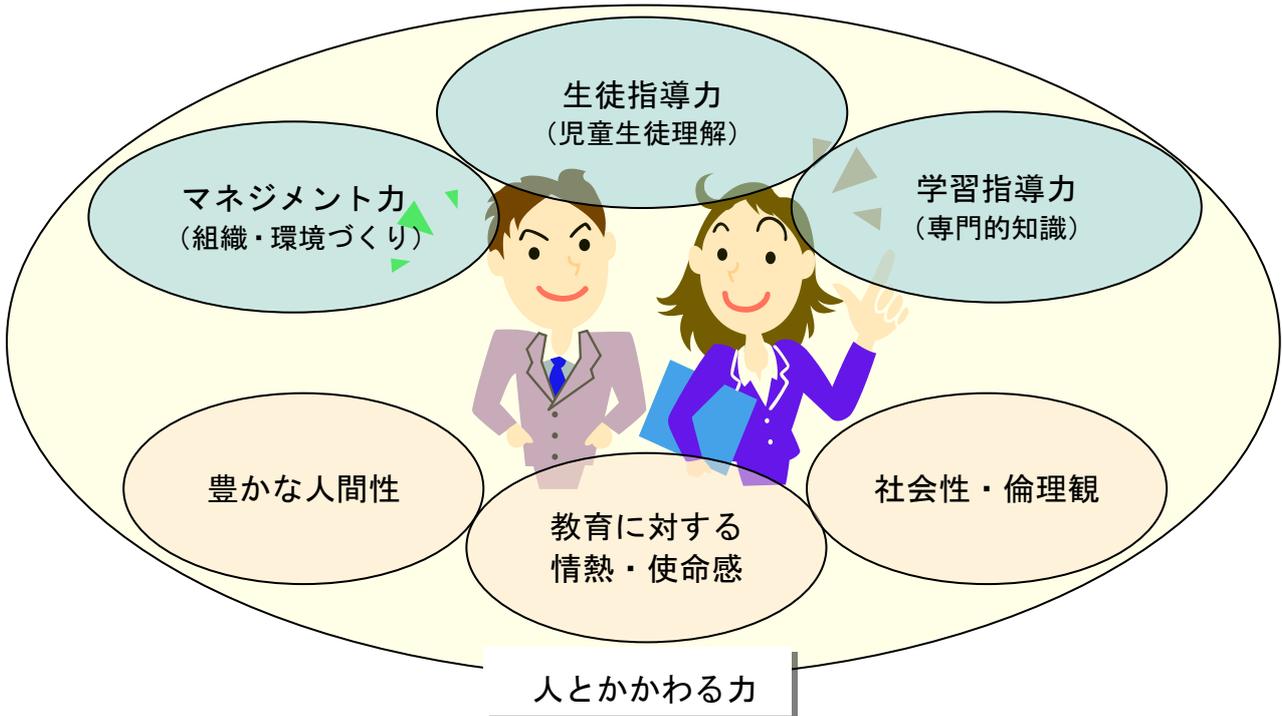
社会性・倫理観

サービスの根本基準	17
不祥事防止のためのチェックリスト	18
不祥事が発生した場合に考えられる影響	18
おわりに	19

こんな力を身に付けてほしい

資質能力の六つのカテゴリー

「教育は人なり」という言葉があります。これからは、先生方一人一人が個性を生かし、さらなる専門性を身に付けて教育を行うことが求められています。そのために必要な資質能力を次のように整理して、このハンドブックを作成しました。



先生方に求められる資質能力を大きく六つのカテゴリーに分け、それらを包含するものとして「人とかわる力」を加えています。

実践的指導力

生徒指導力

社会的な自立を図るための児童生徒とかわる力。

学習指導力

確かな学力を定着させるための専門的指導力。

マネジメント力

学級を形成し運営する力。他と連携・調整・協働する力。

基盤となる資質

豊かな人間性

温かい心や柔軟な発想を持ち、幅広い視点から児童生徒とかわり考察する姿勢。

教育に対する情熱・使命感

児童生徒に対する深い愛情や教育者としての誇り・責任感を持つ姿勢。

社会性・倫理観

社会に幅広く柔軟に対応する姿勢。
高い倫理観と規範意識を持って公正に対応する姿勢。

教育に対する情熱・使命感

受け継がれる精神

旧備前藩主池田光政は、寛文10年（1670年）日本で最初の庶民のための学校を創建しました。

その学校は「閑谷学校」と名付けられ、以後、「閑谷学校」は様々な分野で現在の日本を形づくる有能なリーダーを輩出してきました。そして、庶民教育の殿堂としての姿、思いは340年たった今も「岡山の教育」の原点として受け継がれています。



【旧閑谷学校講堂（国宝）と楷の木】

岡山っ子の健やかな育成に向けて

「教育は国家100年の大計」の言葉どおり、我々は、次代を担う人材を責任持って育成していかなければなりません。「21世紀の岡山を築く子どもたち」「岡山から世界へ羽ばたいていく子どもたち」を育てるためには、どうしても先生方の力が必要です。

このハンドブックは、先生方の日々の教育実践に少しでも参考になればと考え、日々の教育活動を推進していく上でのポイントをまとめたものです。

先生方の「若さと情熱」「エネルギーと英知」を結集して、心豊かでたくましい岡山っ子の育成に共に取り組みましょう。池田光政の教育にかける思い、そして人を育てるということに対する情熱に思いをはせながら・・・。



【初任者研修での一場面】

教育の出発点 — 人と人との心のふれあい —

ちよつとコラム

あなたは、どう感じますか？

お母さん
お母さん、私は頭悪いからごめんね。
いっつもがっかりさせてごめんね。
でも、お母さんが「たんぽぽ」（当時の学級通信の名前）を読んで
「あんたは、やさしいから、お母さん、大好きよ。」
と言われた時、うれしくてうれしくて
ふとんの中で
「よかった、よかった、がんばろう。」
と自分でも、うーんとはげましたよ。
先生、私でもいいところ、あるんだね。

この詩は、古関勝則先生が「時評」（ひまわり社）の中で紹介された児童の詩を引用した。

生徒指導力

児童生徒の健やかな成長を願って

児童生徒の健やかな成長は、すべての大人の心からの願いです。私たち教師も児童生徒のよりよい成長を願い、日々のかかわりを工夫しながら、児童生徒に向き合っています。

生徒指導は、一人一人異なる児童生徒の心にまなざしを向け、個々の資質や個性に応じた指導や支援をすることです。

単に児童生徒の問題行動への対応だけではなく、学校の教育目標を達成するためにすべての教育活動を通して行われるものなのです。

自己存在感を与える

自己存在感とは、自分は価値ある存在であると実感することです。教師は一人一人の存在を大切に思っにかかわりましょう。また、気にかけていることを分かりやすく伝えましょう。

かぜで休んでいた児童生徒に声をかける



活躍の場を与えプラスの評価をする



どんな発言でも取り上げ、無視をしない



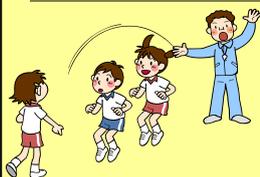
授業のどの場面での児童生徒を生かせるか考えておく



共感的な人間関係をはぐくむ

共感的人間関係とは、ありのままに自己を語り、理解し合う人間関係をいいます。教師と児童生徒、児童生徒同士の間でも大切です。

休憩時間など一緒になって遊ぶ



教師の得意技などを披露する



たどたどしい発言でも、言い終わるまで待つ



教師が感動したことなどを表情豊かに伝える



児童生徒はどんな先生が好きですか？

あなたが教師を目指した動機は何ですか？

心に残っている先生はどんな先生ですか？

自己決定の場を与える

児童生徒自身に選択や自己決定ができる場や機会を多く設けましょう。

児童生徒が自分で選択したり、決めたりしたことは頑張っやりとげようとしてします。

話し合いで学級に必要な係を決める



遠足や修学旅行の班行動の決まりを自分たちで決め、行動に責任を持つ



一人で考える時間を十分に与える



自分の考えをみんなの前ではっきり表現する



※ 安心して自分の考えを表現できるよう聞き合う習慣を身に付けさせましょう。

児童生徒理解を深めよう

児童生徒一人一人の個性を生かし、個人の持つ特徴に配慮して、それぞれの児童生徒の人格を望ましい方向に形成させるための指導・援助を行うには、正しい児童生徒の理解が必要です。

児童生徒一人一人を見つめよう
児童生徒の外面だけでなく、内面をたくさんの視点・方法で理解しよう！

いろいろな面から理解しよう

- 健康面の状況**
(表情, 保健室の利用状況等は?)
- 性格・行動面の状況**
(遅刻, 欠席の状況は? 服装, 提出物に変化はありませんか?)
- 学習面の状況**
(得意なこと, 不得意なことは?)
- 環境面の状況**
(家族関係に変化はありませんか?)



- 内面を理解するためのポイント**
- 児童生徒同士の会話や行動・態度・表情に変化はありませんか。
 - 日記, 作文, 生活ノートでの表現はどうでしょう。気になることがあれば, 面接相談でゆっくり話をしてみましょう。
 - アンケート調査や心理検査(バウムテスト, 人物画, 家族画, エゴグラム)を活用することで, 理解を深め, 指導や援助の手がかりを得ることもできます。

ちよつとコラム

先生にプレゼントしたかった

昼休み, 小学校第3学年の担任のA教諭のもとに, クラスのB男がつかみ合いのけんかをしているという知らせが入った。現場に行ってみると, 栽培委員が大切に世話をしていたチューリップをB男がちぎったとのことだった。

日ごろから, 乱暴なところのあるB男に, A教諭は厳しく注意した。B男は肩をいからせ悔し涙を浮かべて「先生に・・・」とつぶやいた。

その瞬間, A教諭ははっとした。先週, 他の児童が教室にチューリップを飾ってくれた。その時, 「ありがとう。先生はチューリップが大好きなんだ」と言ったことを思い出したのだ。B男の肩に手をかけ, 「もしかしたら, 教室に飾ってくれようと思ったの?」と声をかけた。その瞬間, B男の肩がすとんと落ちた。はにかんだような瞳が見上げていた。

指導に生かす

できるだけ, 多面的に児童生徒を理解した上で, 指導や援助の見通しを立てましょう。また, その後のかかわりを通して一層理解を深めていくことができれば, より適切な指導や援助につなげることができますね。

児童生徒が教師に示す態度は一樣ではなく, 同じ態度に対する教師の理解も一樣ではありません。多くの教師の連携により, 児童生徒理解を進めることが大切です。

適応上の問題や心理面の問題がある児童生徒とのかかわりは？

心に不安や緊張などがたまると、心はバランスを保とうとし、それが「身体面」「行動面」「精神面」にサインとなって現れることがあります。児童生徒はなかなか自分からは言い出せないものです。このようなサインをキャッチして、早めの支援ができるように、日ごろのかかわりを大切にしましょう。

身体面に現われると・・・

- 頭痛、腹痛、下痢、吐き気など体調不良になる。
- 食欲不振や不眠などになる。



行動面に現われると・・・

- 保護者から離れられない。
- 友達関係や遊びが変化する。
- 何事も投げやりになる。
- 集団から孤立するようになる。
- 不登校傾向を示す。
- 万引きなど非行傾向を示す。



精神面に現われると・・・

- チックや頻尿、爪かみ、抜毛などが本人の意思とは無関係に起こる状態になる。
- やせているのに、太っていると思うようになる。(極端に食べなくなる)
- 特定の遊びに没頭し、現実の世界から逃避する。
- 抑うつ的になる。(無口になる 遊ばなくなる 表情が乏しくなる)
- 情緒が不安定になる。(怒りっぽくなる メノメソする 不安定になる)



このようなサインに気付いたら・・・

- 児童生徒の「心」や「気持ち」を理解するように声をかけましょう。
 - ・「最近どう？」などと話しかけ、話しやすい雰囲気をつくりましょう。
 - ・児童生徒の行動には必ず原因があります。なぜそうしたのか、児童生徒の気持ちを察してみましょう。
- 先生が気にかけていることを分かりやすく伝えましょう。「最近、元気がないように見えるけど、先生心配だな」
- 学校での様子や家庭での様子など、保護者との情報交換を行いましょう。

児童生徒が休み始めたら・・・

そっとしておくのではなく、何らかの登校に向けた働きかけをします。しかし、性急な指導が逆に問題を複雑化させることもあるので、児童生徒の様子を見極めながら対応します。「学校に行こうよ」などの働きかけをした際に、児童生徒が家庭でどのような反応を見せたかなど、家庭とよく連絡を取り合います。児童生徒がパニックになるような行動を見せた場合、それ以上の刺激は避けます。

一人だけで悩まない

- 学年主任に報告・相談しましょう。また、生徒指導・教育相談係や先輩教師などにも相談し、様々な見方や対応について助言や援助を受けましょう。
- 症状によっては、養護教諭やスクールカウンセラーなどとの連携を図りましょう。

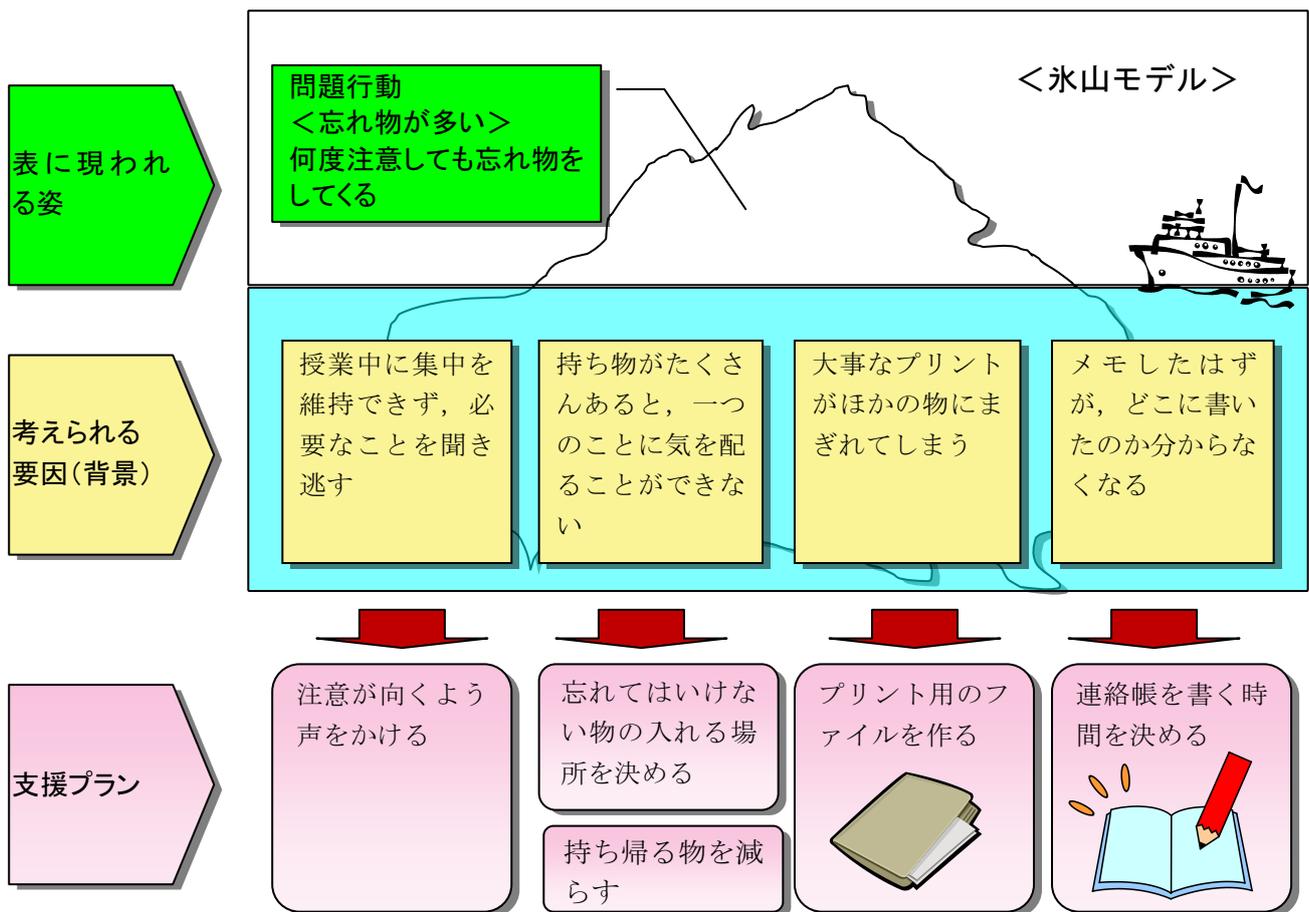
登校渋りに気付くチェックリスト

<input type="checkbox"/>	口数が少なくなり、表情が暗くなってきた。
<input type="checkbox"/>	遅刻することが多くなった。
<input type="checkbox"/>	おなかが痛い、足が痛いなど体の不調を訴えることが多くなった。
<input type="checkbox"/>	保健室に何度も行くようになった。
<input type="checkbox"/>	家に帰りたいたと訴えるようになった。
<input type="checkbox"/>	教師の周りになんとなくいることが多くなった。
<input type="checkbox"/>	トイレに何度も行くようになった。
<input type="checkbox"/>	ささいなことにこだわり、訴えてくるようになった。
<input type="checkbox"/>	カッとしたり、投げやりになったりする態度が見られるようになった。
<input type="checkbox"/>	周りの注意をひくような、わざとらしい行動が目立つようになった。

※このリストは「小学校版 新任教師のしごと 学級経営の基礎・基本」(小学館)の p. 73 の表を基に作成した。

特別な支援を必要とする児童生徒の理解のために

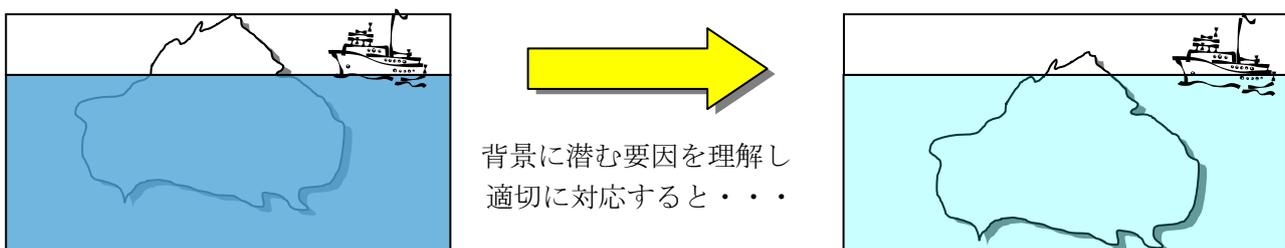
問題行動を冰山モデルとして考えてみましょう。冰山は大部分が水中にあります。この沈んでいて見えない部分に問題行動の原因があり、水面上に出ている部分、すなわち目に見える部分が問題行動として現れているととらえることができます。私たちは、表面に現れた行動のみに注目してしまいがちですが、その背景に潜む要因を考え、支援プランを立てて対応していくことが重要なポイントになります。



次の図は、冰山を自閉症特性とし、海水を環境（理解及び支援）としたものです。この海水の塩分濃度を理解や支援の不適切度に例えるとします。理解や支援の不適切度が高いということは、塩分濃度が高いということなので、左図のように冰山は浮き上がります。一方、塩分濃度を下げる（背景に潜む原因を理解し、適切な支援が行われる）と右図のように冰山は沈みます。

自閉症の特性を理解し、適切な支援方法を見付けることが大切です。

※参考 新冰山モデル 京都市児童福祉センター 門真一郎



発達障害のある児童生徒への教育的支援

発達障害のある児童生徒の中には、口頭での指示や一度にたくさんの指示が理解しづらいことがあります。また、「がんばれ、やればできる」等の激励や「努力が足りない」等の声かけ、丁寧に説明しようとしても「同じことを何度も説明する」こと等が、かえって逆効果になることもあります。児童生徒の持ち味を生かしたり、得意な部分を伸ばしたりするような支援により、自己肯定感を育てることも大切です。

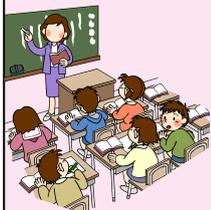
児童生徒が安心して生活できるようにするための三つのポイント

視覚的に示す

☆視覚的な板書やプリント等文字で示す。(同時に三つ以上の内容を含む指示はしない。)

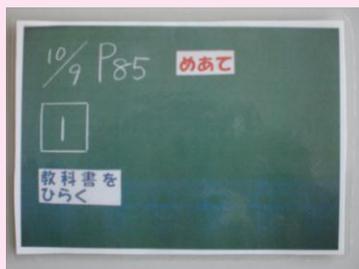
活動の見通しを示します

この授業で「何を学習するのか」ということを視覚的に明確にしておく、目的意識が明確になり、注意の持続や集中が期待できます。



1. 小テスト
2. 教科書 p.32
3. ワークシート
4. グループ
5. ノート
6. 算数ドリル

どのような順番で何をするかを提示しておく、活動の切り替えが円滑になり、自立した準備が期待できます。



見通しを持つ

☆時間的な見通し、活動の見通し等を示す。(変更がある時は、あらかじめ伝える。)

朝の会や帰りの会などで

話をする項目について、順番と内容を簡条書きにして示すと、話の内容を理解しやすくなり、見て確認できることから記憶しやすくなります。



1. お客さま
2. 身体測定
3. 読書

今日は、まずお客さまが来られます。
次に...



共感的にかかわる

☆共感的な態度で接し、ルールと具体的な方法を教える。

休憩時間や放課後などで

(例) けんかがあった時

・「あなたが怒っている気持ちはよく分るよ」



共感的に接する

・「でも、〇〇をするのは、だめです」



いけないことは、きちんと伝える

・「今度はどうすればいいか一緒に考えよう」



具体的な行動を示す



☆否定的な表現や皮肉は言わず、肯定的な表現を用いる。

・「廊下は歩きましょう」



月	日	月曜日		
いつ	どこ	なにを	どんな	どうするもの
朝	教室	カバン	<input type="checkbox"/> しゅくだいを出す <input type="checkbox"/> きかえ	<input type="checkbox"/> まよみ <input type="checkbox"/> しゅくだい <input type="checkbox"/> きかえ <input type="checkbox"/> おん
朝の会	教室	朝の会		
1	教室	字消		
2	教室	算数		<input type="checkbox"/> 算数の教 <input type="checkbox"/> 算数のノ <input type="checkbox"/> 算数のノ
給食	()	あそぶ	<input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> お茶を飲む	お水とる
3	運動場	運動会の練習	<input type="checkbox"/> 2年生だけです <input type="checkbox"/> てあらうがい	<input type="checkbox"/> お水とる <input type="checkbox"/> お水とる
4	教室	国語	「あったらいいな」	<input type="checkbox"/> 国語の教 <input type="checkbox"/> 国語のノ

☆自分の感情にぴったりの言葉、よりよい言葉を伝える。

- ・「一緒に遊びたかったんだね」
- ・『『仲間にいれて』と言うとうまく伝わるよ』

特別支援教育の観点からみた教室整備のチェックリスト

- 教室を整理整頓し、 unnecessaryな物を置かないようにしている。
- みんなで使う物の置き場所を決め、分かりやすく目印を付けている。
- 児童生徒のロッカーや机の中を整理しやすいように、仕切りや整理かご等を活用している。
- 机の横に（できるだけ）物をかけないようにし、活動しやすくしている。
- 下校前に、全員で机の中や棚の整理整頓をするように習慣付けている。
- 学習プリント類は、配付時に整理（ノートにはる・ファイルする）できるようにしている。
- 連絡プリント類は、配付時に連絡袋（ファイル）に入れるように習慣付けている。
- 黒板の周りには、掲示物をはらずに学習に集中できるようにしている。
- 月・週・1日の予定を掲示し、見通しをもって生活できるようにしている。
- 学習で使用する用具や教材などは、1週間以上の余裕をもって知らせている。
- 忘れ物をした児童生徒に、貸し出しができる用具類を用意している。
- 学習しやすい座席配置やグループ編成をしている。

ちよつとコラム

ブランコに乗りたかったつとむくん

ブランコで遊ぼうと運動場に出たつとむくんは、ブランコに乗っていたゆりさんをいきなりたたいてしまいました。それを見ていた友達が職員室に走って来て、近くにいた先生に報告しました。

あなたなら、どのように対応しますか？



ベテランの担任の先生がやって来て、次のように対応しました。先生は、「ブランコに乗りたかったのね」とつとむくんの気持ちを言葉にして返しました。たたかれたゆりさんには「痛かったね、大丈夫？」と声をかけたり、たたかれたところをなでたりしました。そして、「つとむくんは、後どれくらい待てばいいのかわからなかったのかな。どうしたらいいかな」と、友達に投げかけました。友達は「かわってと言う」「あと10数えたら終わりと言う」「ごめんねと言う」などのアイデアを提案しました。

その後、担任の先生は「教室には『かわって』『ごめんね』のカードをはってみんなで使えるようにしているのよ」と教えてくれました。

この担任の先生がとった行動には、どんな意味があると思いますか？

学習指導力

よりよい授業づくりのために、1単位時間の授業展開の見通しを持つことが大切です。児童生徒に対する発問、板書計画、しかけ等を計画し、それらを通して児童生徒自身が自分の考えを持ち、それを表現できるような授業にしていま

授業前に...

- 黒板はきれいになっていますか？
- チャイム着席はできていますか？
- 児童生徒は、教科書・ノートの準備ができていますか？
- 指示を出しましょう
- 待っている姿を見せましょう

- 様子がおかしい児童生徒はいませんか？
- 声をかけましょう
- 周りの児童生徒に聞きましょう
- 必要に応じて、近くの教員に支援を求めましょう

授業中に...

- いつも決まった児童生徒が発言していませんか？
- 活動に参加できていない児童生徒はいませんか？
- 発問を変えましょう
- グループでの話し合い活動を取り入れましょう

- 騒いだり立ち歩いたりしている児童生徒はいませんか？
- 周囲に不快な思いをさせている児童生徒はいませんか？
- 指示を出しましょう
- 待っている姿を見せましょう
- 毅然とした態度で対応しましょう

授業後に...

- 教師に何か聞きたいようなそぶりの児童生徒はいませんか？
- 近くに立つなど、話しかけやすい雰囲気をつくりましょう
- 教師側から声をかけていきましょう

- 児童生徒は片付けと次時の準備ができていますか？
- 指示を出しましょう
- 周りの児童生徒にも協力してくれるよう声をかけましょう

目標	被除数を相対的な大きさでとらえて、除法の計算の仕方を筋道立てて考えることができる。
学習活動	学習課題をつかむ。
教師の支援	条件不足のテープ図を提示することで、尋ね
評価	

授業の「ねらい」を明確に示そう。

【導入】
 ○前時までの学習内容を確認し、児童生徒の理解状況を把握しておきましょう。
 ○児童生徒の興味・関心が高まるように、本時の学習課題を示しましょう。

図を使ってわり算の計算の仕方を考え、説明をしよう。

2 2 ÷ 4 の計算の方を
考える。

机間指導
一人一人の状況を見取る

展開に応じて適切な授業形態を工夫しよう。

3

【展開】
 ○「このようになりそう」「こうすれば何とかできそうだと、一人一人が思えるような話し合いをさせましょう。
 ○児童生徒が予想や仮説を確かめることができるよう、資料や助言、時間を与え、課題解決の計画をじっくりと立てることができるようにしましょう。
 ○児童生徒一人一人が自由な方法で、全力で課題解決に取り組み、自らを励ましなが自力で解決できるように配慮しましょう。

4 練習問題をする。

1 ÷ 5
0.2 ÷ 5

授業の「振り返り」を位置付けよう。

5

【終末】
 ○学習したことを振り返らせ、基本的な知識や原理、技能のこつなどを定着させましょう。
 ○学習内容の他への応用等は、「なるほど」という感動をもたらし、次への学習意欲にもつながります。
 ○自己評価を行わせることにより、児童生徒自身が分かっているようで分かっていないこと、もっと調べたいことなどの気付きなどに繋がります。

提示と活動の工夫

- 児童生徒の興味・関心を高める



p.11

発問の工夫

- ねらいにあった発問



p.12

分かりやすい板書

- 計画性のある構造化された板書



p.12

授業改善に向けて

- 児童生徒の自己理解と授業改善

授業観察シート

授業日時	月	日	()	()	校時	第()	学年()	組
教科・領域	()	授業者	()					
観点		評価	項目					
教材分析力	教材研究を十分にして授業に臨んでいるか	A	B	C				
	教材・教具・プリント類等の準備は整っているか	A	B	C				
実態把握力	育てたい力・ねらいは明確か	A	B	C				
	学級の実態をつかんでいるか	A	B	C				
	授業中、生徒の理解度を確認して進めているか	A	B	C				

p.13

県総合教育センター カリキュラムサポートセンターの活用 (0866-56-9108)
 学習指導案や教材の作成を、担当指導主事が支援します。ともに考えましょう。
 教科ごとに整理された学習指導案コーナーや図書資料、研究資料がとても便利です。

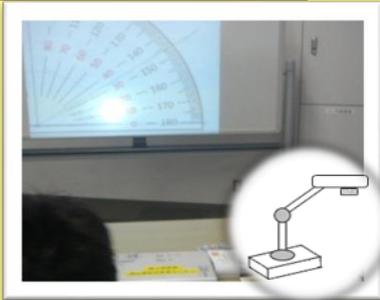
提示と活動の工夫 — 興味・関心を高めるために —



児童生徒が興味・関心を持って授業に取り組むためには、児童生徒の視覚に訴える工夫も大切です。

⇒ 分かりやすく説明したり、児童生徒の理解を深めさせたりしたい時に、実物投影機等のICTを活用して、図や教具を大きく映して示すと効果的です。

小さいものを大きく映す



実物投影機で分度器を拡大

立体的なものを大きく映す



実物投影機で実験道具の扱い方を提示



教師が示す

口頭の説明では指示しづらい小さい教具を、拡大提示することで、説明指示の徹底が図られます。

手元の動きを大きく映す



実物投影機で運筆の演示

一斉に提示して指導しづらい立体的な教具の説明を効率的に行うことができます。

フラッシュ型教材の活用



コンピュータを活用して提示

コンピュータを活用して、フラッシュ型教材での反復学習により、基礎・基本の定着を図ることができます。

従来は個別指導又は少人数指導するしかなかった手元の動きを一斉に示し、徹底することができます。

◎こんな効果があります

- 児童生徒の視点の集中
- 説明指示の徹底
- 興味・関心の高揚
- 学習理解の促進

※ その他、児童生徒のノートやワークシートを大きく映し、良い点を褒めたり改善点を指摘したりすることができます。

⇒ 教師が教材等の資料を提示するだけでなく、児童生徒にICTを活用させることで理解を深めさせたり、興味・関心を高めさせたりすることも可能となります。

■ ノートを映して発表



■ 学習ソフトで反復演習



実物投影機を活用してノートを大きく映して発表に使ったり、コンピュータを活用して個別演習を行ったりすることで、学習への意欲を高める工夫をしてみるとよいでしょう。

児童生徒が活用



発問の工夫 — 授業の交差点 —

授業参観をすると、先生の発問に対して児童生徒が戸惑っている場面を見かけることがあります。発問次第で、考えが止まることも、意図とは違う方向に進むこともあります。まさに授業の交差点と言えます。ここでは、授業の展開に応じた発問を紹介します。



導入の段階の発問

- ・・・について、知っていることはありませんか。
- ・・・について、気付いたことは何ですか。

まとめの段階の発問

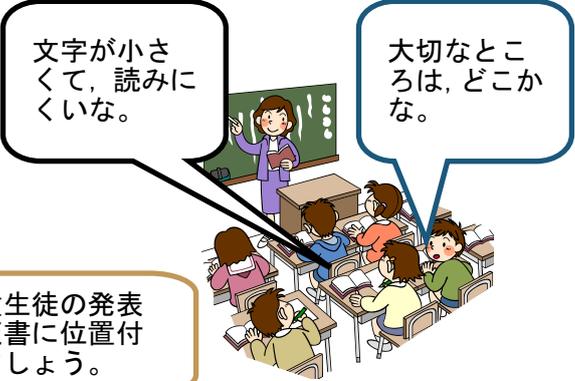
- 学んだことを、自分の言葉で書いてみましょう。
- 次に学習してみたいことは何ですか。

展開の段階の発問

- なぜ、このようになったのでしょうか。
- 自分と友達の考え方で、同じところや違うところはどこですか。
- 友達に分かるように説明してみましょう。
- 他の見方や考え方は、ありませんか。

分かりやすい板書 — 学びの足跡 —

先輩教師の板書を見ると、「ねらい」や「児童生徒の考え」「まとめ」等が整然と書いてあります。一目で、児童生徒の学びが伝わってきます。まさに学びの足跡と言えます。ここでは、板書の留意点を紹介します。



授業のねらいを書いて、見通しを持たせましょう。

正しい筆順で、誤字のないように、丁寧に書きましょう。

児童生徒の発表を板書に位置付けましょう。



学習指導力

机間指導 — 一人一人を大切に —

机間指導のポイントの一つに「机間指導は、児童生徒と同じ目線で行う」ことが挙げられます。教師が上からのぞきこむような姿勢だと、児童生徒はどんな気持ちになるでしょう。改めて、考えてみましょう。

さて、机間指導は、単に児童生徒の学習状況を把握するだけではありません。その目的が大切です。ここでは、机間指導の目的を紹介します。



多様な考え方を把握する

- 様々な考え方の実態を把握し、意図的に取り上げて、その後の授業を展開しましょう。

褒めて自信を持たせるきっかけとする

- 児童生徒の少しの変化を見付け、褒めることを通して、自信を持たせましょう。

つまづいている児童生徒を指導する

- 児童生徒が支援を必要としている時、教師の適切な指導が効果を発揮します。

机間指導の留意点

- ノートに丸を付けたり、コメントを書き加えたりしましょう。ヒントカードも効果的です。
- 指導が固定化しないようにしましょう。

授業改善に向けて — 自分では意外と気付かない —

児童生徒の「できた、分かった」という表情や声は、本当にうれしいものです。

より良い授業を目指して自分の授業をさらに改善するためには、どんな方法があるでしょうか。「授業観察シート」を用意して、先生方に参観していただくのが一番です。また、教室の後ろにビデオカメラを固定して録画し、放課後、一緒に見直ししながら指導を受ける方法もあります。

ちよつとコラム

児童生徒を前にして

国語教育に一生をささげた大村はま先生は、次のように述べておられます。

「教師というのは持ち前の知識でその日その日が過ごせる危険な職業である」

絶えず学び続け、より質の高い教育実践者になろうと意識して児童生徒の前に立つことの重要性を指摘した含蓄のある言葉です。

先生方は、この言葉からどんなことを感じますか？

授業観察シート

授業日時 月 日 () () 校時 第()学年()組

教科・領域 () 授業者()

観点	評価項目	評
教材分析力	教材研究を十分にして授業に臨んでいるか	A B
	教材・教具・プリント類等の準備は整っているか	A B
	育てたい力・ねらいは明確か	A B
実態把握力	学級の実態をつかんでいるか	A B
	授業中、生徒の理解度を確認して進めているか	A B
指導技	生徒の気づきや発言を授業に生かしているか	A B
	話す速さは適切か	A B

マネジメントカ

学級担任は、児童生徒一人一人を正しく理解し、望ましい人間関係の育成に努め、教室環境を整備しながら、一人一人の児童生徒の人間的な成長を図らなければなりません。

学級経営は、児童生徒の人格の完成を目指す教育の土台づくりです。指導に当たっては、過程や結果の見通しを持って対応しましょう。教師が児童生徒とともに活動し、できた喜びや感動を共にする姿勢を持ちましょう。



学級担任として、日々の生活で心がけることは？

朝の会や帰りの会、学級で行う係活動では・・・

- 友達と触れ合うことのできる活動や簡単なゲームを取り入れましょう。
「全員が活動できる係活動」「ジャンケンゲーム」
「学級通信を学級みんなで読み合う」
「児童生徒が選んだ絵本の読み聞かせ」
- 児童生徒と意見交換をしましょう。
「連絡帳や生活ノートの一行日記で意見交換」



学級で行うチェックリスト

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 教室の換気 | <input type="checkbox"/> 机・いすの整頓 |
| <input type="checkbox"/> ロッカーの上の片付け | <input type="checkbox"/> 掲示物の確認 |
| <input type="checkbox"/> 黒板・黒板消し、レールの確認 | <input type="checkbox"/> 清掃ロッカー・ごみ箱の中の確認 |
| <input type="checkbox"/> 教材・教具の確認 | |

保健・安全の観点からも点検をしましょう

- | | |
|--|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 室内は清潔で整頓されているか。 | <input type="checkbox"/> まぶしさはないか。 |
| <input type="checkbox"/> 施設・設備は清潔で破損はないか。 | <input type="checkbox"/> 授業を妨げる音はないか。 |
| <input type="checkbox"/> 黒板・机上の明るさは十分か。 | |
| <input type="checkbox"/> 室温は適正か。(10℃以上 30℃以下が望ましい) | |
| <input type="checkbox"/> 教室に入った時、不快な刺激や臭いはないか。 | |

先輩からのメッセージ

— まねてみる —

初めて担任を任されたときには、隣のクラスの担任教師が行っていたことを見よう見まねで学びました。周りの先輩教師の方たちがとても親切で、相談にものってもらい、いろいろな方法を学んだ気がします。周りにいた先輩教師のそれぞれの持ち味があって、自分にまねできることを日々取り入れてみようかと心がけていました。

(中学校)

— 見て学ぶ —

特別支援学校では、T・Tで動くことがほとんどなので、クラスの主任任から学級経営、会計処理の仕方、出席簿の記入の仕方について教えていただきました。

授業については、いろいろな集団編成で行うため、前年度からおられる先生方に、一度見せていただく中で授業のやり方を学びました。

(特別支援学校)

児童生徒との会話や休み時間のコミュニケーションでは・・・

- 朝、早めに教室に行き、笑顔で児童生徒を迎えましょう。
- ユーモアを交えたおしゃべりをしてみましょう。
- 朝、出席を確認するとき、声をかけましょう。
「かぜがよくなったかなあ」「うれしそうだけど、何か良いことがあったのかなあ」
- 週に1～2回、学級遊びの時間を設定してみましょう。
- 給食の時間では、児童生徒のグループに教師も入って一緒に食べましょう。
「誕生日を迎えた児童生徒に牛乳で『おめでとう』の乾杯」「献立に関するクイズ」
- 授業では、児童生徒の発言を大切にしましょう。「よく発表できたね」「よく気付いたね」

担任が行うチェックリスト

- 登校時にあいさつをする。
- 日直の児童生徒へ直接声をかける。
- 多くの児童生徒に声をかける。
(表情・服装・名札・頭髪等のチェック)
- 始業前には、早めに学級に行き、児童生徒と会話する。
- 一人一人に点呼しながら出欠の確認をする。
(大きな声で元気にあいさつ)
- 元気がなければ何気なく声をかける。
- 休み時間、教室、廊下で多くの児童生徒と話をする。
- 良かったこと、活躍したことなどを話題に声をかける。
- 生活ノートを見てコメントを書く。

～朝の健康観察を大切に～

児童生徒の健康上の問題が多様化してきているため、一人一人の健康状態を把握し、健康と安全に配慮することが重要です。特に朝の健康観察では、その日1日を元気に過ごすことができるか、一人一人をしっかり見ましょう。

◎欠席者および遅刻者を把握し、その理由を確認します。

◎出席者一人一人の心身の健康観察を行い、いつもと違いはないか把握します。

- ・表情はどうか ・顔色は良いか
- ・声の張りや大きさはどうか
- ・体調はどうか ・けがはないか



先輩からのメッセージ

－ 指導の大切さ －

指導教員の先生に、子どもたちをしっかり見ておくこと、子どもたちを大切に思うこと、子どもたちにしっかり語りかけることを学びました。また、担任している1年限りで終わりではなく、常に、子どもたちがどのように成長していくか、どんな大人に育っていったい欲しいかを考えながら指導していくことの大切さを学びました。

(小学校)

－ 大切なこと －

学年主任や先輩教員に子どものかかわり方、生徒指導の方法、行事におけるクラスでの取り組み方、家庭との連携の大切さなど教わりました。他にも、何か困ったときにはすぐ相談させていただきました。周りの先生方に、その時その時で大切なことを教えていただきました。

(中学校)

教室環境や雰囲気のコディネート

- 授業中の児童生徒の発言を学級全体に広げましょう。
- 授業中の児童生徒の発言を認めて、間違っても大丈夫という安心感を持たせましょう。
- ノートやプリントに丸や印だけでなく、シールを貼ったりコメントを書いたりしましょう。
- 席替えでは児童生徒の実態を把握し、隣や同じ班になった人と仲良くできるような活動を取り入れていきましょう。
- 給食の時間では、雰囲気に変化を持たせましょう。



「テーブルクロス」「ランチョンマット」

担任が行うチェックリスト

- 朝の会で、連絡以外に日常の話題を投げかけ、フリートークをする。
- ボール遊びやCDを聞くなど、児童生徒と一緒に余暇活動を行う。
- 休み時間に、前の時間の教科の復習をしたり質問をしたりするなど教え合える雰囲気をつくる。

～安全点検の実施～

学校生活を安全に送ることができるよう、校舎内外の施設設備の異常の早期発見、または災害時における危険場所の発見など、定期、日常、臨時の点検を行います。

各学校の実態に即した点検カードを使用し、点検と早急な事後措置を行うようにしましょう。

－ 記録 －

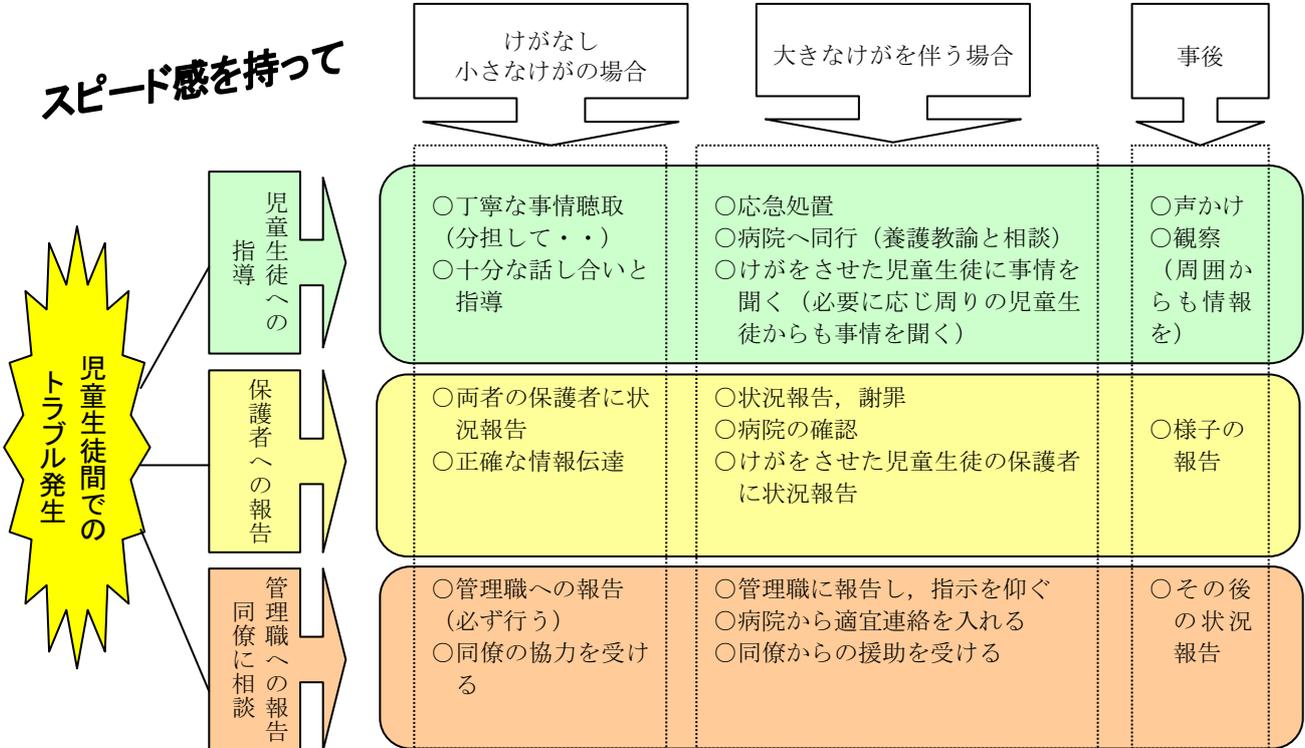
初任者の時には担任がありませんでした。学年の生活指導担当の先生に、担任としての心構えや1日の内に行うことを細かく教え込まれました。全てに細かく、丁寧に対応することを教えられ、やり過ぎることはないと言われました。そのとき気付いたことや、言われたことを記録しておいたものが、次の年から担任を任されたときに、とても役に立ちました。

(中学校)

危機管理 — 担任の動き —

各校の危機管理マニュアルを確認しましょう

児童生徒が安全に学校生活を送ることができるように配慮することは、担任として最も重要なポイントの一つです。ここではトラブルや事故が起こった場合の一般的な対応の流れを確認しましょう。



※ポイント

- 普段から対応手順を明確にしておく
- 迅速な対応を心がける
- 誠実に公平に対応する

学校給食と食に関する指導

食生活の個別指導には配慮していますか？

- ・食物アレルギー
- ・肥満や肥満傾向
- ・偏食傾向

給食時には、実際に「食事をする」という活動を通して、次の内容について指導しましょう。毎日少しずつ指導することで、理解を深め習慣化を図ることができます。積極的に児童生徒の食事のグループに入り、指導の充実に努めましょう。

給食時間における食に関する指導

- 楽しく食事をする
- 栄養のバランスのとれた食事をとる
- 安全・衛生に気を付けて準備や後片付けをする
- 食文化への関心を深める
- 感謝の気持ちを持って食べる

— 給食指導 —

学級担任は、正しい手洗い、配膳方法、食器の並べ方、はしの使い方、食事のマナーなどを身に付けさせましょう。



先輩からのメッセージ

— 愛情 —

相担任の先生に、学級担任として行う生活面の生徒指導を学びました。生徒に愛情を持って接する具体を多く学びました。

(高等学校)

— 心と体の様子 —

一人一人の生徒の心や身体の様子を、顔色を見たり会話をしたりしながら把握していくことや、安全で健康に過ごせるための環境設定、そして生徒に必要な支援具の準備について、先輩教師から学びました。

(特別支援学校)

社会性・倫理観

教員は、地方公務員としての身分を有すると同時に、教育公務員としての身分も有します。教員の職務には成長過程にある児童生徒への影響が非常に大きいことや、児童生徒並びにその保護者との信頼感が重要であることから、高い社会性や倫理観が求められます。

サービスの根本基準

教職員の服務

職務上の義務

<地方公務員法第 31 条>

サービスの宣誓

改めて「宣誓書」に署名・捺印したことを思い出しましょう。「私は、ここに、・・・職務を執行することを固く誓います。」という文言は、とても重いものです。

<地方公務員法第 32 条>

法令及び上司の職務上の命令に従う義務

学校は組織として児童生徒の教育に当たります。校長の経営方針に沿って、校長等の上司の職務上の命令に従って、職務を全力で遂行しましょう。

<地方公務員法第 35 条>

職務に専念する義務

<地方公務員法第 33 条>

信用失墜行為の禁止

<信用失墜行為の禁止>

職員は、全体の奉仕者として職務を遂行するものであるから、その職の信用を傷つけたり、職員の職全体の不名誉となったりするような行為をしてはならない。例えば、

- ・体罰 ・わいせつな行為
- ・飲酒運転
- ・セクシュアル・ハラスメント
- ・アルバイト ・リベートの受領 等

は社会の信用を損なうものであり、絶対に許されない。



<地方公務員法第 34 条>

秘密を守る義務

<教育公務員特例法第 18 条>

政治的行為の制限

身分上の義務

<地方公務員法第 37 条>

争議行為の禁止

<地方公務員法第 38 条>

営利企業等の従事制限

アルコールってすぐに抜けるの？

ちよつとコラム

体内で純アルコールが処理される速度は「**体重 1 kgにつき 1 時間で 0.1 g**」です。したがって、体重 50kg の人が 1 時間で処理できる純アルコールは **5 g** となります。

体重 50 kg の人が **ビール大瓶 1 本 (アルコール 32 g)** を飲んだ場合、アルコールが抜けるまで **6.4 時間** もかかることになります。

※データはあくまで平均値であって、個人差はもちろんその日の体調により異なります。

不祥事防止のためのチェックリスト

- 勤務時間外であっても、自らの行動が教育界全体の信頼に影響を与えていることを常に意識して行動しているか？
- 過度の遊興にふけったり借金をしてギャンブルに金をつぎ込んだりするなど、教育公務員としてふさわしくない行為をしていないか？
- 個人情報に関する電子データの管理（コンピュータや記憶媒体）において、盗難や情報漏えいに対する対策を行っているか？また、電子データ等を無断で学校外に持ち出したりすることはないか？
- 児童生徒、保護者、他の教職員にセクシュアル・ハラスメントと取られかねない言動はないか？
- 深夜に飲酒した場合、翌朝や昼であっても一定基準以上のアルコールが体内に保有されることを認識しているか？
- 教材費や部費等の学校徴収金を扱う際、複数の教職員でチェックしているか？また、一時的な立て替えであっても、公金を流用することはないか？
- わいせつ行為は、被害者の人権を著しく傷つける行為であり、わいせつな行為に一切かかわらないという強い意志を持って生活しているか？
- 選挙運動に関する違法行為など、政治的行為の制限に抵触するような行動をとることはないか？

不祥事が発生した場合に考えられる影響

- ◆児童生徒は
 - ・これまで信頼していた教職員の行動を知り、精神的なショックを受けるとともに、学校や教職員に対する不信感を持つ。
 - ・当該教職員が不在となり、学習活動への影響について不安を持つ。
- ◆保護者は
 - ・これまで信頼していた教職員の行動を知り、学校や教職員に対する不信感を持つとともに、子どもたちのショックや今後の学習活動への影響について不安を持つ。
- ◆同僚の教職員は
 - ・急なマスコミ取材や緊急保護者会の対応、校内体制整備のための会議などに追われ、本来行わなければならない業務に大きく支障が出る。
 - ・学校に対する不信感を解消するため、不安を訴える児童生徒への教育相談的な対応や保護者への十分な説明などが必要になる。
 - ・当該職員が、担当していた業務を他の教職員で当面分担して担当することになる。
- ◆当該教職員自身は
 - ・懲戒処分を受け、場合によっては職を失い、収入の道を断たれるだけでなく、社会的制裁を受けることになる。
- ◆当該教職員の家族は
 - ・当該教職員の行為により、家族も社会的な批判等を受ける場合もある。

おわりに

お わ り に

「少子高齢化」「核家族化」「国際化」「情報化」「価値観や生活様式の多様化」など今、日本社会は大きく変化をしています。

このような社会情勢の中で、児童生徒の学力の向上や学習習慣の定着が求められる状況にあるとともに、いじめ・不登校の問題や家庭や地域社会の教育力の低下など、克服していかなければならない様々な教育課題があります。こうした状況に対応していく教員には、専門的な知識や指導技術をはじめ豊かな人間性や使命感、さらには社会の変化に対応できる幅広い社会性等を確実に身に付けていくことがますます必要となってきています。

岡山県では平成 22 年 2 月に「岡山県教育振興基本計画」を策定し、これからの時代をたくましく切り拓く^{ひら}人づくりを目指して様々な教育施策が推進されているところです。この中でも、学校や児童生徒が抱える様々な教育課題に適切に対処し、社会の進展に柔軟に対応できる教員像について言及されています。こうした状況の中で、教員の大量退職、大量採用の時期が訪れようとしており、若手教員の育成は喫緊の課題でもあります。そこで、当総合教育センターでは若手教員に求められる実践的指導力に焦点を当て、日々の教育活動に参考となる事例や資料等を作成いたしました。

このハンドブックは、初任者をはじめとする若手の先生方が、まず直面すると思われる教育課題のうち、特に「授業の指導」「児童生徒理解の在り方」「学級づくりを中心とした環境づくり」等について焦点を絞り、具体的、重点的にまとめたものです。「学問に王道なし」の言葉どおり教員に求められる資質能力の向上に近道はありません。若手の先生方にとっては毎日が試行錯誤の連続だと思えます。そんな時、このハンドブックをちょっと開き、少しでも課題解決に役立てていただけたらと思えます。「未来にはばたいていく岡山っ子」をみんなで育成するために……。

【参考文献】

- ・ 渡部邦雄, 加々美肇編集 (2006) 『中学校若手教師の学級経営テキスト』 明治図書
- ・ 堀田龍也 (2008) 『リーフレット 「大きく映せばわかる!できる! (保存版)」』 独立行政法人メディア教育開発センター
- ・ 堀田龍也 (2010) 『わかる・できる授業づくりにICT活用を!』 財団法人パナソニック教育財団
- ・ 佐々木雄三, 笠井仁 (2010) 『図で理解する生徒指導・教育相談』 福村出版
- ・ 内山登紀夫監修・安部陽子・諏訪利明編 (2009) 『こんなとき, どうする? 発達障害のある子への支援, 小学校』 ミネルヴァ書房
- ・ 片岡和香 (2007) 『特別支援教育を推進するための校内支援体制の構築』 高知県教育センター
- ・ 岩手県立総合教育センター (2005) 『生徒指導の機能を生かした授業づくりの手引きー授業が変わる生徒が輝くー』
- ・ 神奈川県立総合教育センター (2009) 『小学校初任教師のための授業づくりハンドブック』
- ・ 岡山県教育庁保健体育課 (2009) 『学校保健・安全・給食管理の手引き』
- ・ 岡山県教育委員会 (2003) 『気づいていますか? 「心」のサインー中学校での生徒指導体制の充実を目指してー』
- ・ 岡山県教育委員会 (2004) 『児童のすこやかな成長を願ってー小学校での生徒指導体制の充実を目指してー』
- ・ 岡山県教育委員会 (2007) 『高等学校における発達障害のある生徒の理解と支援のために』
- ・ 岡山県教育委員会 (2010) 『新しい門出のためにー初任者研修資料ー』

――

ともに創ろうおかやまの未来 ― 見て分かる教師ガイド ―
研究協力委員会

指導助言者

高旗浩志 岡山大学教師教育開発センター准教授

三善 真 岡山県総合教育センター教育経営部長
 小藤一成 岡山県総合教育センター教育経営部指導主事
 大月一泰 岡山県総合教育センター教育経営部指導主事
 宮本裕美 岡山県総合教育センター教育経営部指導主事
 圓橋義則 岡山県総合教育センター教育経営部指導主事
 金井庸記 岡山県総合教育センター教育経営部指導主事
 正好東洋 岡山県総合教育センター教科教育部指導主事
 橋本淑子 岡山県総合教育センター生徒指導部指導主事
 北川和美 岡山県総合教育センター特別支援教育部指導主事
 藤代昇丈 岡山県総合教育センター情報教育部指導主事

平成 23 年 2 月発行
 編集兼発行所 岡山県総合教育センター
 〒716-1241 岡山県加賀郡吉備中央町吉川 7545-11
 TEL (0866) 56-9101 FAX (0866) 56-9121
 URL <http://www.edu-ctr.pref.okayama.jp/>
 E-MAIL kyoikuse@pref.okayama.lg.jp

お問い合わせ 教育経営部 TEL (0866) 56 - 9102
 Copyright © 2011 Okayama Prefectural Education Center

